



令和6年度 学校だより

海風街風

千葉市立海浜打瀬小学校
令和7年 2月13日

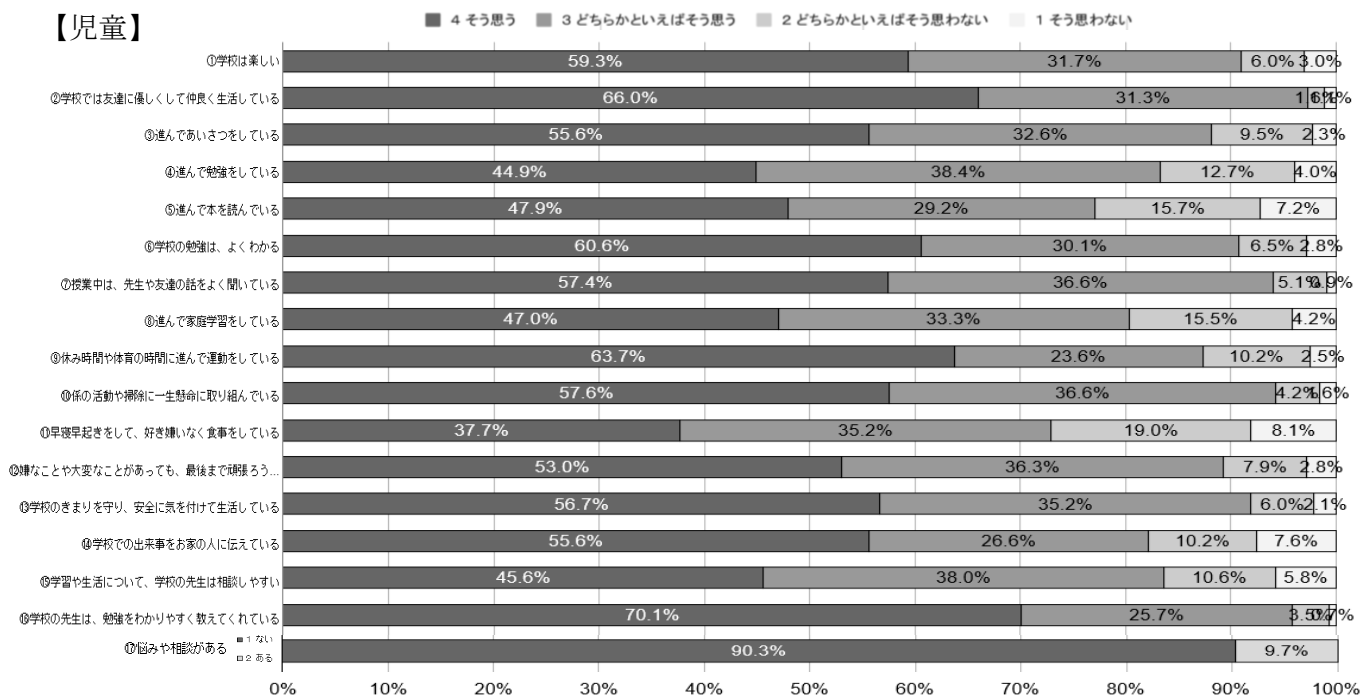
令和6年度 学校評価アンケートのまとめ

児童、保護者、教職員のそれぞれに「学校評価アンケート」を実施しました。児童と教職員はギガタブ、保護者はすぐーのアンケート機能を使用して回答しました。ご協力ありがとうございました。

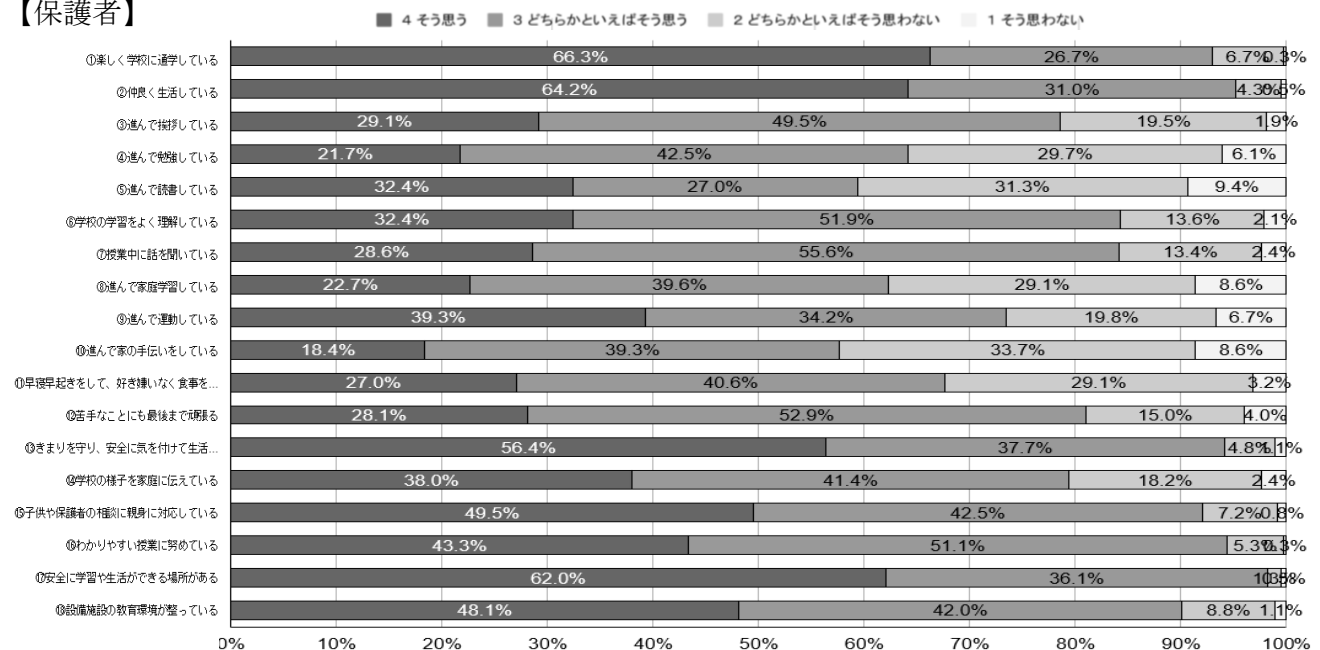
児童と保護者のアンケート結果についてお知らせいたします。貴重なご意見を基に検討を重ね、今後の教育活動に生かしてまいります。

回答数：児童 432 名 保護者 376 名

【児童】



【保護者】



学校評価アンケート（12月実施）の考察

成果

児童の回答は、「そう思う」を選んだ割合が、④⑧⑫以外の項目全てで増加しています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な回答の割合は、ほとんどの項目（⑤⑪以外）で8割を超えており、いずれも高いことがわかります。中でも、「②学校では友達に優しくして仲良く生活している。」「⑦授業中は、先生や友達の話をよく聞いている。」「⑩学校の先生は、勉強をわかりやすく教えてくれている。」といった項目は、昨年度と比較し、いずれも（2～約4%）増加していることから、充実した学校生活を送ることができていることがうかがえます。

これまで課題とされていた「⑤進んで本を読んでいる」の肯定的な回答の割合については、児童、保護者、教職員全てで、わずかではあるものの増加しており、読書の機会の確保や環境整備を進めてきた成果だと考えます。読書ボランティアへのご協力やご家庭での声かけに感謝いたします。

今後も更なる向上のため、情報を共有しご理解とご協力をいただきながら、安全で安心できる学校づくりを目指していきます。

課題

児童の回答の中で肯定的な割合が最も低い項目は、昨年度と同様「⑪早寝早起き・好き嫌い」でした。「そう思う」の割合だけを見ると、約1.5%増加しているため、引き続き、家庭との連携を図るとともに保健の授業や家庭科の授業等を充実させ、実践力につなげられるよう工夫を重ねていきます。

「⑫粘り強さ」については、「そう思う」を選んだ児童の割合が約3%減少しているため、困難な問題に直面した際の回復力や適応力を育めるよう、教育活動全体を通して、あたたかな雰囲気づくりや、成功体験を多く経験させることによる自己肯定感の高まりを重視していきます。

「④進んで勉強」「⑧進んで家庭学習」については、昨年度と比較して、児童、保護者共に肯定的な回答の割合が減少しています。しかし、教職員の肯定的な回答の割合はどちらも増加（④約20%増・⑧約13%増）しており、よく取り組んでいる印象があります。「もっとできるようになりたい。」「もっとやってほしい。」という児童や保護者の思いを受け止め、引き続き、「問い」を大切に

した課題を設定し、試行錯誤を繰り返す中で力を身に付けられるよう「わかる授業」を心がけ、主体的に学習に取り組む態度の育成に努めてまいります。

自由記述より 「 」内：いただいたご意見ご要望等 ⇒：学校としての回答

○「トイレが汚い。」「トイレの清掃が行き届いていない。」など

⇒「前期後期1回ずつでも掃除に参加できたらやりたい。」といったご意見もいただいております。

ボランティアとして、トイレ掃除やカーペットの貼替え等を依頼するかどうかを含め、協力体制を確立できるよう具体策について検討してまいります。

カーペットについては、本年度も昨年度と同様に「はるかぜプロジェクト（海浜打瀬の会）」で学年に1台ずつ掃除機を購入していただきましたので大切に使用していただき、清潔な状態を保てるようにしていきます。

○「学校での様子を知らせてほしい。」「落ち着かない現状を保護者が見に来るよう手紙を…」など

⇒学校（学級）での様子につきましては、トラブルが起きたときだけ保護者に連絡するのではなくその後の様子を伝えたり、日頃からこまめに連絡を取り合ったりするようにし、よりよい指導・支援が行われるようにしていきます。また、本校では、いつでも学校に様子を見に来ていただくことが可能となっております。

その他、いただいたご意見やご要望に対しては、無記名のためわかる範囲での対応となりますが、一つ一つ十分に検討し、子供たちのよりよい成長につなげられるようにします。また、どの教職員も子供たちに寄り添ったあたたかな指導や支援ができるよう研修を重ね、指導力の向上を目指します。

行事や教育課程については、教育課程検討会議を設け、次年度に向けて検討を重ねていきます。いただいたご意見やご要望を踏まえ、よりよい学校経営に生かしていきます。

教職員に対する感謝の言葉も数多くいただきました。いただいた言葉の中にあった「丁寧に様子を見て…」「全てにおいて熱心に取り組んで…」「真摯に子供たちの教育にあたって…」といった教職員の姿勢が、子供たちの充実した学校生活につながると考えます。引き続き、子供一人一人に寄り添い、変化を見逃さない（機を逃さない）指導・支援を心がけていきます。

今後も、教育委員会や専門機関等にも相談や要望を伝えるとともに、よりよい環境づくりや見直しに取り組み、適切かつ迅速に教職員一丸となって学校経営を行ってまいります。引き続き、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。